

報道関係者各位

令和8年7月31日

舞鶴引揚記念館 白樺日誌の保存修復研究について 報道関係者の皆様に現地調査を特別公開します

世界記憶遺産登録資料をはじめ、世界的に重要な資料の保存にも真摯に取り組んでおります。その代表的な資料として、白樺の皮に抑留の記憶が記された唯一無二の白樺日誌については、学術的にも保存方法が確立されていない中、舞鶴市では令和5年度から国宝や重要文化財などを扱う専門機関と連携しその調査研究に着手しています。

今回は3年ぶりにケースから取り出し、引揚記念館での現物資料調査を行うこととなり、その一部を報道関係者の皆様に公開させていただきますのでお知らせいたします。

一般にあまり知られる機会の少ない保存事業にご理解を深めていただければ幸いです

1. 公開日時 令和8年8月4日(火) 14時～15時
※現地調査期間は、8月3日(月)～8月6日(木)
2. 場所 舞鶴引揚記念館
3. 調査実施 元興寺文化財研究所研究員(奈良市)、舞鶴引揚記念館学芸員
4. 当日の内容 ○展示ケースから取り出した白樺日誌について主に下記の調査を行い劣化度や修復に関するデータの取得
 - ・状態調査
 - ・機器による計測(実体顕微鏡による微小部観察、分光測色計による色温度の測定、赤外線による調査など)○引揚記念館学芸員による白樺日誌の説明
○元興寺文化財研究所研究員による調査内容の説明
5. 取材にあたってのお願い
 - フラッシュでの撮影はご遠慮ください
 - 筆記具は鉛筆、シャープンをご使用ください希少な資料の保存環境へのご理解ご協力をお願いいたします



休日の部活動を
地域に展開

舞鶴引揚記念館 館長 嵯峨根吉宏
〒625-0133 舞鶴市字平1584
[TEL:0773-68-0836](tel:0773-68-0836)、[FAX:0773-68-0370](tel:0773-68-0370)
E-mail:hikiage@city.maizuru.lg.jp